

P-MAC

千葉県キャンプ協会
Camping Association of Chiba



平成17年度、定期総会のご案内

災害に無縁と思われる我が千葉県キャンプ協会も無縁ではありませんでした。9月の「カヌーキャンプ」は猛暑による池の藻の異状繁茂に水面を奪われカヌーを諦めるという事から始まり、「2004全国キャンプ大会inえひめ」では台風さなかのずぶ濡れの出発、中越地震では、日本キャンプ協会の指導により大型の六角テントを急送、その後更に大型のドームテントの発送に奔走する始末でした。後日、事務担当者会議の席上で新潟県キャンプ協会副会長、今井和彦氏から感謝のお言葉とともに「全国の支部協会からの義援金や人と物資の支援の速さに驚いた」と発言がありました。

関東地区でも「近いうちに地震が」という噂も耳にすることが多くなりました。会員の皆さん、キャンプの指導者としての活動とともに、皆さんがキャンプで学び、培ってきた知識や技術そして経験が不測の災害に負けない社会作りに役立ててくれるような活動が必要ではないでしょうか。

今年も桜花の季節を迎え、下記の通り「平成17年度、定期総会」を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

千葉県キャンプ協会、第21回定期総会 (ご通知)

1. 日 時——平成17年5月15日(日)、午後1時30分～3時30分
2. 会 場——船橋市 東船橋、 JR東船橋駅下車 3分、
コミュニティプラザ 茶 茶、
3. 注記 -1 同封の返信用はがきに必要事項をご記入の上、4月30日までにおご返送下さい
尚、欠席の場合は委任状にご記名・捺印の上ご返送ねがいます。
- 2 近くに駐車場の用意が出来ませんので公共の交通機関をご利用の程
お願い申し上げます。

野外活動安全講習会

主催——(社)日本キャンプ協会
関東ブロック支部協会

主管——東京都キャンプ協会

平成17年1月29日～30日の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。

千葉県協会からは、スタッフとして寺田会長メンバーとして三代川、石坂の2名が参加しました。(三代川は風邪のため途中退席)紙面の制約上、詳細な報告は出来ませんが、講習の一部を掲載しました。

講師；日本アウトワードパウンド協会・セイフティマネージャ、濱谷弘志先生、
準備運営スタッフ：東京都キャンプ協会 4名
当日運営スタッフ；各県支部(茨城県を除く)5名、
参加者；16名(東京6名、埼玉4名、千葉2名、群馬2名、栃木1名、神奈川1名)他、愛知1名

講習内容は次の通りです、皆さんも討論に、リスク探しに、紙上参加してみてください。

1. 講義とワークショップ

「組織に必要なリスクマネジメントとは」
5～6名の班に別れ、それぞれのテーマで討論、

- ①「管理システム」班、
- ②「スタッフ雇用、トレーニング、育成」
- ③「参加者準備と審査」班
- ④「プログラム活動」班
- ⑤「緊急時の手順」班

2. 「事故事例から学ぶ安全の視点」(ワークショップ)

【事例】

「アドベンチャープログラム」マウンテンバイクを高学年生5名により1日間に、約56Km走った後に発症した。

走行途中では、沢登や水遊びもしている。体温が38.7℃から39℃になった子、腹痛下痢等を訴えた子が5名中4名、また病院に行き、病名は「ウイルス性風邪」と診断された。

【事例に対する質疑応答】

- ・水温は、 ; 5分ぐらいしか入ってられない冷たさ、
- ・昼夜の温度差；昼間30℃、夜は15℃ほど、
- ・朝の健康チェック；自己申告による、
- ・テントの使用法；男女は別、(男4、女1)他に低学年生、

(1)間接的にリスクマネジメントのトレーニングをすることが大切。

(2)自分ならどうするか、の視点をもつ。

(3)目的は、事例から

- ①事例の中にどんなリスクが潜んでいるか検証する、
- ②そこで行なわれた判断が適切か検証する。
- ③そこで行なわれた処置が適切か検証する。

さて、皆さんには、どんなリスクが見えますか？そしてどう対処しまか？

3. 「指導者のリスクマネジメント」

前項の事例をビデオ映像で「指導者レベル」「リスクの関係」、「現場の指導者にとって必要不可欠の要素は？」ということ学習し、映像から感じたリスクがどれだけあるか直感で見出すトレーニング。

4. 「現場のリスクマネジメント」 (ワークショップ)

ここからは実際のゲームをしながら「実演者」と「観察者」に別れて、それぞれ指導者としての視点からリスクの見出すトレーニングです、皆さんも写真を参考にゲームに参加して下さい。

4-1 「アメーバー」 (危険度：小)

4人が互いに背を向けて腕を組み、所定のコースを回って戻る、競争。



4-2 「人間ラダー」 (危険度；中)

スタートライン・ゴールラインを5m程度の間隔で設定し、その間を左右4名ずつで作られたラダー(はしご)を伝って地面に触れないようにプレイヤー(1名・空中遊泳者と呼ぶ)が渡りきる。



* ラダーは、テープ(山岳登攀用・長さ1m、幅15mm程度の両端を止め結び)を左右に別れた参加者が相互に引き合ったその腕力と握力によってのみ支えられている。

* 制限事項、「遊泳者」を乗せてラダーは移動してはならない、

テープは手首に巻き付けること、ゲームは作戦タイム5分、ゲームの制限時間は5分とする。

*ラダーの組方と「遊泳者」の渡り方は自由とする。

4-3「大脱出」 (危険度：大)

[ゲームの方法]

川幅4m、川岸に1本の立ち木。

全員が川に落ちることなく、立ち木側から反対岸に移動する。



[ルール]

- *誰かが川に落ちたら、全員やり直し、
- *使用して良い道具は、ザイル(ロープ)ヘルメット(人数分)、マット2枚、(30cm四方)、立ち木、
- *マットは、移動するための岩としても良い、但し1枚につき1回しか使えない。(1枚を誰か1人だけ使用できる)
- *木に登るのは禁止、
- *制限時間は、作戦とトライアルをあわせて20分間、
- *最終的に、使ったロープは回収する、(自分たちの手元に)

5. 「講習のまとめ」 (講師より)

- ①リスクは五感を司さどる五官によって得られる、それにプラスαを持つことが大切である、
視覚(目)、嗅覚(鼻)、味覚(口、舌)
聴覚(耳)、触覚(皮膚)、
プラスα(嫌な予感)
- ②リスクを評価、分析して、どのように対処するか、その仕方が大切である、
- ③指導者のレベルで実施することが大切、
「このくらいは大丈夫だろう」は、一番危険、
- ④現場ではどうか、日頃のトレーニングを生かせるようにしておくことが大切、そして、現場を踏むことにより更に感覚を磨くことが必要である、

今回の講習会では考え方、見方を提供した、ここがスタートです、リスクを0にするのは無理、リスクを発見したとき、どうフォローしていくかが大切です。

濱谷講師より

2005年度

第15回 全国キャンプ大会 in とちぎ

日光の自然と、いにしえ人の対話

今年の全国キャンプ大会は、久しぶりに関東で開催されます。

主催は日本キャンプ協会ですが、主管するのは[栃木県キャンプ協会]です、関東地区の他の6都県協会は後援団体として支援することになります。

期日は、平成17年9月17日(土)、18日(日)、19日(月・祝日)の3日間です。今年、10月の紅葉シーズンの交通渋滞を避けた結果、9月の開催になりました。

近くで開催される全国大会は当分ないと思われますので、是非参加して全国のキャンプ仲間と日光の自然を満喫して下さい、プログラムの要旨は次の通りです。

日程・プログラム

第1日 9月17日(土)	
13:00	受付(全日参加者)
14:00	開会行事(開会式、キャンプアワード授与) ※日光プリンスホテル (記念講演「日光の自然と野外活動の歴史」栃木県キャンプ協会会長 野澤重治)
15:30	オリエンテーション ※日光プリンスホテル
16:00	キャンプサミット ※日光プリンスホテル
18:30	ウェルカムパーティー(夕食) ※日光プリンスホテル
22:00	就寝
第2日 9月18日(日)	
7:00	受付(2日目からの参加者)
7:30	朝食
9:00	フリーチョイスプログラム 1 奥日光の自然との対話(事前申し込み:4コース) 2 いにしえ人との対話(事前申し込み:6コース) 3 みんなでコミュニケーション(自由参加:3コース) (入浴)
17:00	夕食
19:30	かがり火コンサート
22:00	就寝
第3日 9月19日(月・祝日)	
7:30	朝食
9:00	ワークショップ
11:00	閉会行事(閉会式)
12:00	解散

◎ 2日目フリーチョイスプログラム

(1) 奥日光の自然との対話 (要予約)

- ① 白根山(標高2577.6m)登山 1日コース、
- ② 切込湖・刈込湖ハイキング //
- ③ 中禅寺湖・西湖 //
- ④ 戦場ヶ原 //

(1) いにしえ人との対話 (要予約)

- ① 世界遺産日光の寺社 散策 1日コース、
- ② 日光彫り体験 場内 午前コース、
- ③ ふくへ(かんびょう)細工 //
- ④ 益子焼絵づけ //
- ⑤ ナイフ作り //
- ⑥ ハンモック作り //

(1) みんなでコミュニケーション(自由参加)

- ① ティーピーで ティタイム
- ② 工作の館(薄のバツタ、竹細工、
バルーンアート、他)
- ③ 奥日光の自然とのコミュニケーション、

2005 キャンプ・ディレクター養成講習会

(社)日本キャンプ協会主催のキャンプ・ディレクター養成講習会が下記の通り決定しました。平成18年度から「指導者養成制度」が大きく変わります、変更内容は10月発行の「キャンピング」107号に掲載されます。

特にディレクター2級(以下D2という)を受検される場合、現行では1回の講習会ですが、18年度から「プログラム、ディレクター」と「マネージメントディレクター」の「2ステップ」になります。(2講習会合格でD2になる)

取得単位も現行の「4年間有効」に対し、18年度からは単年度となり、持越しは出来なくなる予定と聞いています。

17年度のD2、D1の講習会日程は下表の通りです。

(1) キャンプディレクター2級養成講習会 (全国7ヶ所)

開催エリア	日 程	会 場
九州・沖縄	4月29日(金)～5月1日(日)	福岡県立ふれあいの家 北筑後
関 東	6月17日(金)～19日(日)	埼玉県立 長瀬げんきプラザ
中国・四国	7月16日(土)～18日(月)	広島県立 高原の家 七塚
東北・北海道	8月26日(金)～28日(日)	札幌市 滝野自然学園
近 畿	10月21日(金)～23日(日)	OAAはりまハイツ
中部・北陸	10月28日(金)～30日(日)	富山県立 二上青年の家
近 畿	2月17日(金)～19日(日)	京都YMCAリトリートセンター

(2) キャンプディレクター1級養成講習会 事前検定 (全国3ヶ所)

開催エリア	日 程	会 場
西 日 本	9月3日(土)～4日(日)	大阪府 箕面野外活動センター
九州・沖縄	9月10日(土)～11日(日)	北九州市立 玄海青年の家
東 日 本	10月1日(土)～2日(日)	国立青少年センター

(3) キャンプディレクター1級養成講習会 本講習会 (全国2ヶ所)

開催エリア	日 程	会 場
東 日 本	11月23日(水)～27(日)	国立 赤城青年の家
西 日 本	11月30日(木)～12月4(日)	大阪府総合青少年野外活動センター

◎千葉県キャンプ協会 キャンプインストラクター 養成講座

17年度の養成講座は下表のとおり、関係団体と共同で実施いたします(ご通知)

関係団体名	NPO野田市レクリエーション協会	千葉市少年自然の家 千葉県キャンプ協会
日 程	6月4日(土)～5日(日) 他,	6月25日(土)～26日(日)
会 場	千葉県立 手賀の丘少年自然の家	千葉市 少年自然の家
申し込み先 (連絡先)	千葉県キャンプ協会・事務局 FAX 047-420-6665	同 上、 鶴岡様 TEL 0475-35-1131

備 考

- (1) D1, D2の受講希望者には「実施要項」を送付いたしますので、千葉県キャンプ協会事務局までご連絡ください。
- (2) キャンプインストラクター養成講座について、皆さんの周囲におられる野外活動に興味のある方にご案内頂き、キャンプ指導者の拡張にご協力ください。
- (3) キャンプインストラクター養成講座の受講希望者は、「養成講座実施要項」と申込書を送付します。

編集後記

毎号、報告やお知らせの一方方向の記事ばかりで申し訳ありません、編集子としては会員の皆さんの生の声で紙面を埋めていきたいとの思いが本音です。
皆さんのキャンプに寄せる思いや、実施して来たキャンプの記録の投稿を待ってま～す